



インフルエンザ ワクチン接種の検討を！

令和6年12月18日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第50週分・12月9日～12月15日)

《インフォメーション》

●インフルエンザ

インフルエンザは流行時期に合わせ、毎年第36週(8月末～9月初旬)から翌年の第35週までの1年間をインフルエンザシーズンとして情報提供が行われています。

2020年に発生したCOVID-19の世界的流行の影響を受け、2020/2021、2021/2022シーズンにおいて国内ではインフルエンザの大きな流行は見られませんでした。しかし、以降の2022/2023シーズン(緑)には警報レベル(30人/定点)に近い流行が、2023/2024シーズン(青)には警報レベルを超える流行が全国および富山県で発生しました(右図)。

今シーズン(赤)において全国の報告数は、第44週に流行開始の目安である1.00人/定点を超え、第49週では9.03人/定点と急速に増加しています。富山県の報告数は第44週では0.54人/定点、第50週では4.81人/定点と増加傾向であり、今後の注意が必要です。咳エチケット、手洗い・手指消毒、換気、予防接種といった感染対策を心がけましょう。

インフルエンザワクチンはインフルエンザの発症をある程度予防し重症化を防ぐ効果があるため、ワクチン接種が推奨されます。接種日において65歳以上の方や60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に重度の障害を有する方は、市町村が実施する「定期予防接種」の対象者となり、接種費用の一部が助成されます。また、生後6か月以上の未就学児には県からの助成が、小中学生等には各市町村からの助成があります(富山県インフルエンザ関連情報)。日本ワクチン学会は、生後6か月以上のすべての人に対するインフルエンザワクチンの接種を推奨しています(2024-25期の季節性インフルエンザワクチンの接種に関する日本ワクチン学会の見解)。ワクチンは効果の発現まで2週間程度かかるため、助成対象期間等も確認の上、早めの接種を検討しましょう。

《全数報告の感染症》

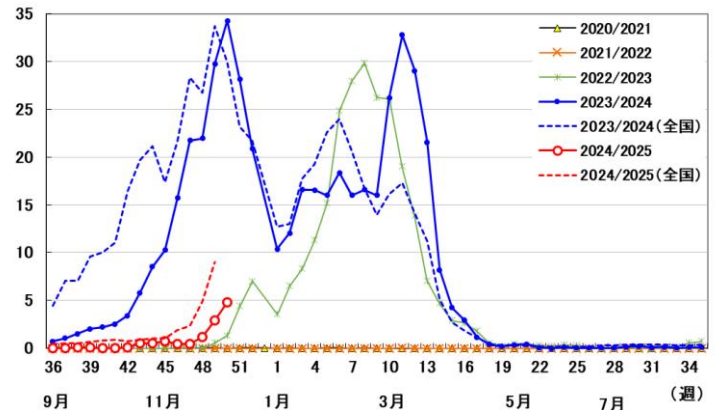
- 二類感染症 結核 2件 (①20歳代、女性 ②80歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (20歳代、男性、O157、VT1VT2)
- 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (70歳代、女性)
- 梅毒 2件 (①30歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期 ②50歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期)
- 百日咳 1件 (10歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	8.31 (↑)	6.59
2位	インフルエンザ	4.81 (↑)	2.92
3位	マイコプラズマ肺炎	2.80 (↓)	3.20
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.55 (↓)	4.03
5位	COVID-19	2.46 (↑)	1.63
6位	咽頭結膜熱	0.93 (↑)	0.41

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>

(人/定点) インフルエンザ患者報告数の推移(全国・富山県)



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第50週 令和6年12月9日～令和6年12月15日）

分類	疾患	今週報告分（第50週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核					2	2	11	6	33	12	49	111	
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					2	2	7	5	15	8	30	65	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1			1		2	10	4	8	24	
四類感染症	腸チフス									3			3	
	E型肝炎											2	2	
	つつが虫病							1					1	
	ポツリヌス症											4	4	
五類感染症	レジオネラ症							3	2	13	5	21	44	
	アメーバ赤痢											3	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症							2		8		14	24	
	急性脳炎									1	1	1	3	
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							2		4	1	13	20	
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										2	3	5	
	ジアルジア症											1	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									3	1	8	12	
	侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1	
	侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	3		2		5	10	
	水痘（入院例）							1	1	1			3	
	梅毒			1	1		2	3		11	9	22	45	
	播種性クリプトコックス症											1	1	
	破傷風									2			2	
	百日咳				1		1				1	1	2	
	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	21	14	89	26	81	231	1,138	1,070	4,285	1,602	5,278	13,373
COVID-19		3.00	2.80	6.85	3.71	5.06	4.81	2,546	1,277	4,052	2,261	3,335	13,471	
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	37	10	30	21	20	118	82	71	634	72	494	1,353	
	咽頭結膜熱	5.29	2.00	2.31	3.00	1.25	2.46							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2		3	5	134	271	727	40	726	1,898	
	感染性胃腸炎	0.25	1.67	2.00		0.50	0.93	217	190	3,357	337	1,667	5,768	
	水痘	2	1	35	6	30	74	1,055	769	1,695	705	4,353	8,577	
	手足口病	0.50	0.33	4.38	1.50	3.00	2.55	4.75	7.67	4.88	3.00	14.80	8.31	
	伝染性紅斑		1	1	1	4	7	3	20	125	16	93	257	
	突発性発しん		0.33	0.13	0.25	0.40	0.24							
	ヘルパンギーナ		4	4		4	12	284	918	3,693	678	3,882	9,455	
	流行性耳下腺炎		1.33	0.50		0.40	0.41							
	急性出血性結膜炎		2	3			5	1	32	11	2	16	62	
	流行性角結膜炎		0.67	0.38			0.17							
	細菌性髄膜炎	1		7		3	11	12	21	149	39	133	354	
	無菌性髄膜炎	0.25		0.88		0.30	0.38	1	46	111	95	257	600	
マイコプラズマ肺炎	1				1	2	91	46	111	95	257	600		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.25				0.10	0.07	4	1	8	3	18	34		
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎			1		1					3	3		
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎			4		4		13	2	48	5	13	81	
	無菌性髄膜炎			2.00		0.57								
	マイコプラズマ肺炎					1	1					2	2	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）					1.00	0.20							
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）	2		4	7	1	14	8	17	78	41	20	164	
COVID-19による入院患者	2.00		4.00	7.00	1.00	2.80								
COVID-19による入院患者									1	2	3	23		
COVID-19による入院患者	4	14		6	3	27	232	198	212	253	608	1,503		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和6年第36週（9月2日）～の集計です。

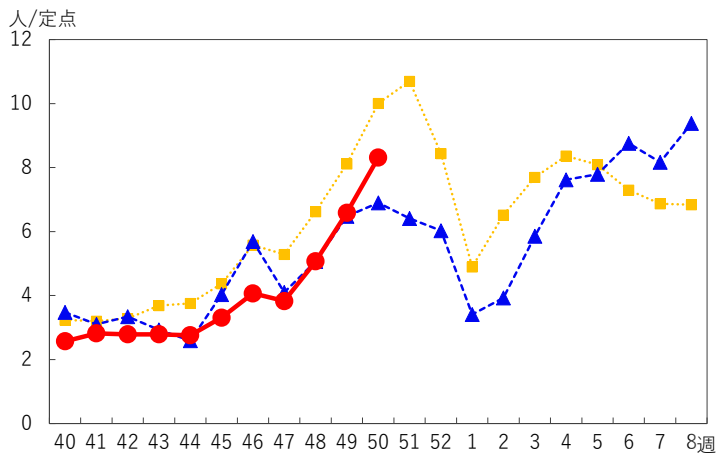
今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2024（令和6）年 第50週（12月9日（月）～12月15日（日））

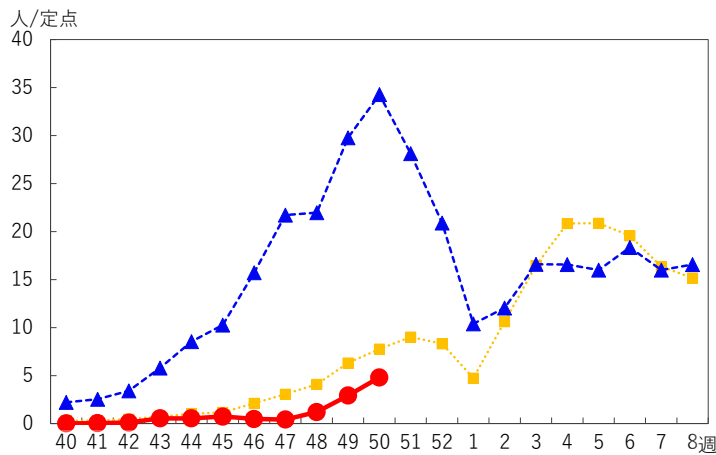
12月18日時点速報値

—●— 現在 -▲- 前年 -■- 過去10年平均

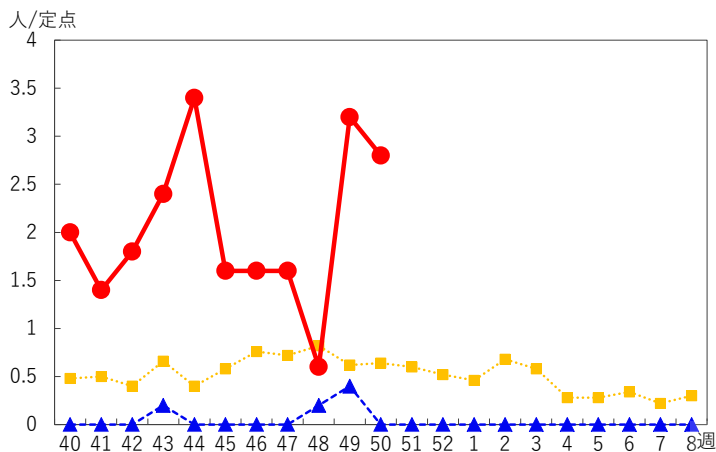
感染性胃腸炎



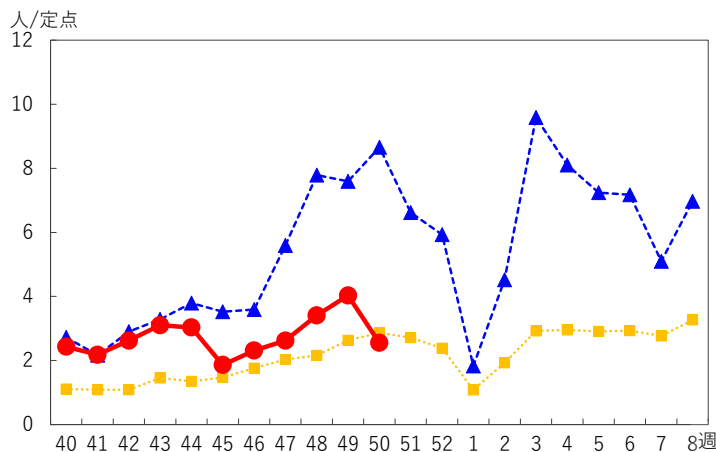
インフルエンザ



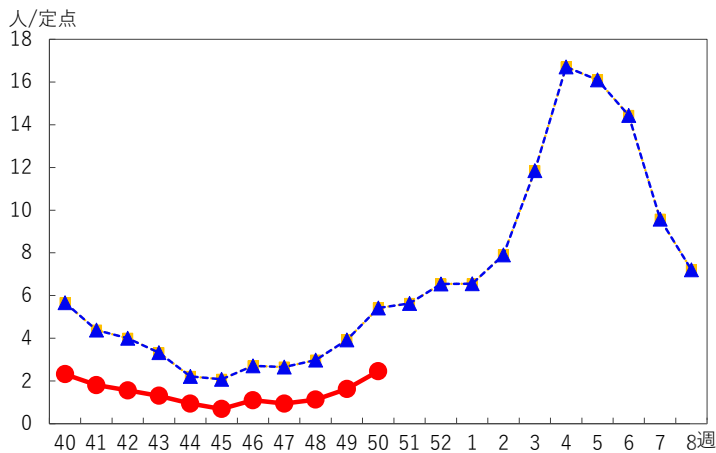
マイコプラズマ肺炎



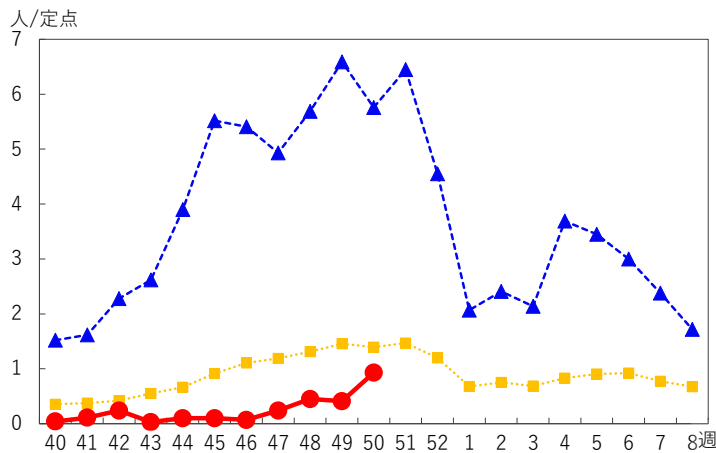
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



COVID-19



咽頭結膜熱



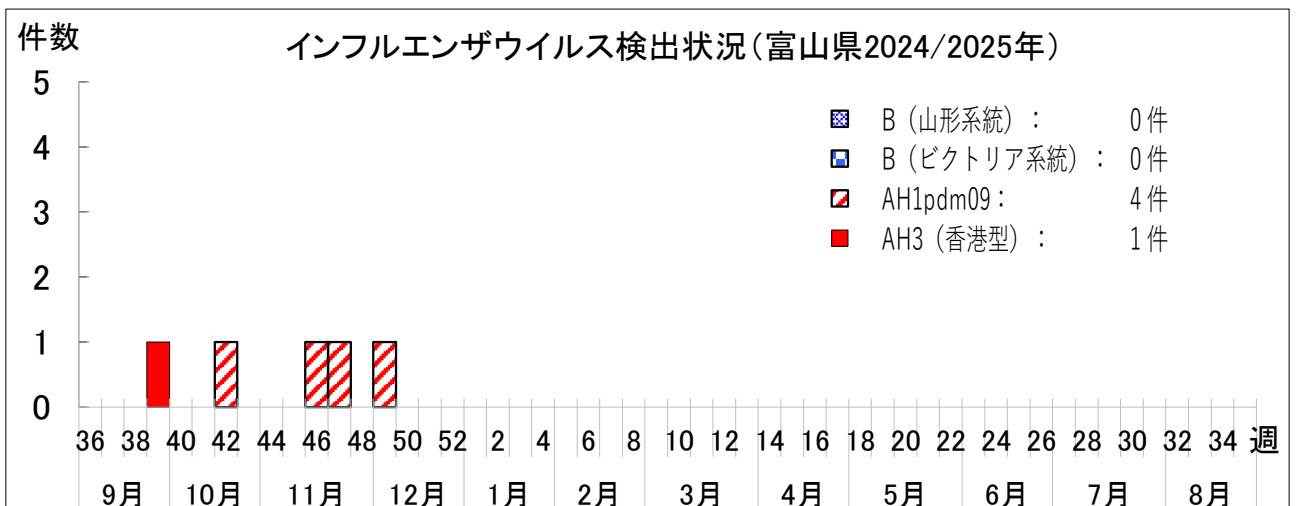
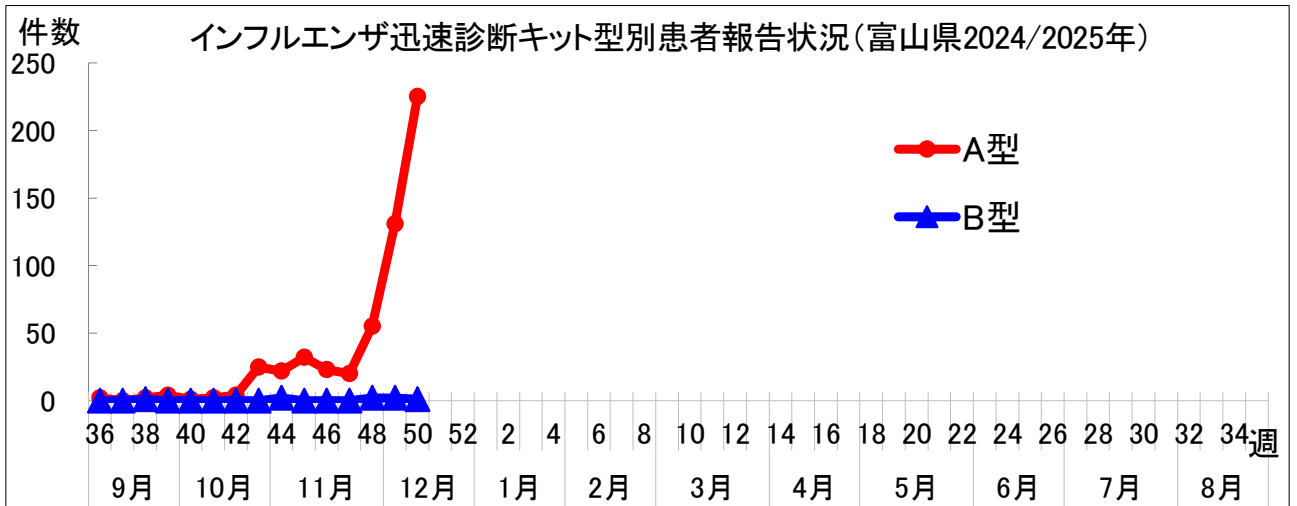
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が97.4%となっています。

第50週(12/9～12/15)：富山県 4.81人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	5 / 7	21	0	0	21
中部	3 / 5	14	0	0	14
高岡	11 / 13	87	0	2	89
砺波	6 / 7	26	0	0	26
富山市	14 / 16	77	1	3	81
富山県	39 / 48 ^{※1}	225	1	5	231
富山県累計(2024年36週～)		548	8	20	576

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が39か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





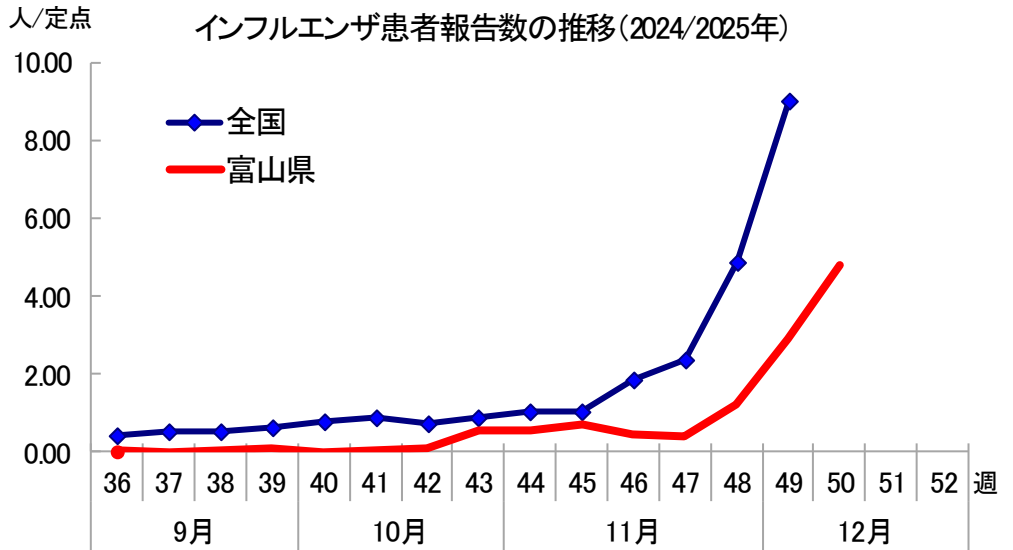
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第50週 (12/9~12/15) : 富山県 4.81 人/定点

新川 HC (3.00)、中部 HC (2.80)、高岡 HC (6.85)、砺波 HC (3.71)、富山市 HC (5.06)

全国の患者報告数は、第49週に9.03人/定点となり、前週より顕著に増加しています。

県内の患者報告数は第50週に4.81人/定点となり、全国と同様に急増しています。

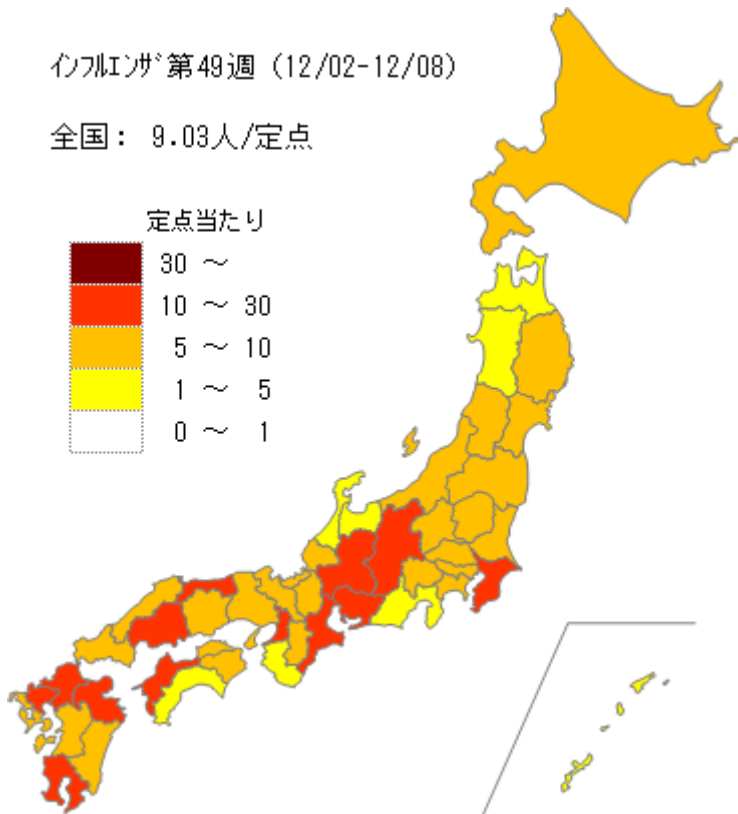


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第49週 (12/2~12/8)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり9.03人となり、前週の4.86人より増加しました。47都道府県すべてで前週より増加しています。

インフル第49週 (12/02-12/08)

全国：9.03人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	8.00 ↑	滋賀県	7.12 ↑
青森県	4.00 ↑	京都府	7.40 ↑
岩手県	7.27 ↑	大阪府	10.05 ↑
宮城県	7.62 ↑	兵庫県	8.37 ↑
秋田県	3.81 ↑	奈良県	8.21 ↑
山形県	8.74 ↑	和歌山県	4.92 ↑
福島県	9.88 ↑	鳥取県	12.14 ↑
茨城県	7.02 ↑	島根県	7.34 ↑
栃木県	5.61 ↑	岡山県	6.25 ↑
群馬県	6.87 ↑	広島県	12.11 ↑
埼玉県	9.74 ↑	山口県	9.03 ↑
千葉県	13.23 ↑	徳島県	5.03 ↑
東京都	8.19 ↑	香川県	5.77 ↑
神奈川県	9.69 ↑	愛媛県	11.42 ↑
新潟県	6.14 ↑	高知県	4.23 ↑
富山県	2.92 ↑	福岡県	20.30 ↑
石川県	2.73 ↑	佐賀県	12.11 ↑
福井県	5.92 ↑	長崎県	8.79 ↑
山梨県	5.66 ↑	熊本県	7.66 ↑
長野県	12.47 ↑	大分県	13.41 ↑
岐阜県	10.54 ↑	宮崎県	7.10 ↑
静岡県	4.44 ↑	鹿児島県	11.74 ↑
愛知県	10.25 ↑	沖縄県	4.00 ↑
三重県	10.35 ↑	全国	9.03 ↑

○感染症発生動向調査報告状況（令和6年11月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		11月報告分						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症		1	3		9	13	2	4	13		95	114
			1.00	1.00		2.25	1.30						
	性器ヘルペスウイルス感染症					7	7		10	5	1	63	79
						1.75	0.70						
尖圭コンジローマ				1		3	4			1	5	18	24
				0.33		0.75	0.40						
淋菌感染症				1		2	3			4		19	23
				0.33		0.50	0.30						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2		3		10	15	21	7	23	15	81	147
		2.00		3.00		10.00	3.00						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1				1	2	6	1	7		9	23
		1.00				1.00	0.40						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。